

令和6年度 学校評価 アンケート結果(児童・保護者・教職員)
 アンケート実施 令和6年 11月
 調査人数 児童1~6年生(135/136人) 保護者(105/136人) 教職員16人

A:あてはまる いつもそうだ よくわかる
 B:だいたいあてはまる そうだ わかる
 C:あまりあてはまらない どちらかというと～
 D:あてはまらない いつもそうではない よくわからない

1.【学校運営 保護者・地域との連携による児童の育成】

(1)開かれた学校づくりへの情報発信

① 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
学校だよりや HP 等を通して学校の様子はよくわかりますか	保護者	28.8	64.4	6.8	0	A	A
家庭や地域への情報発信はよくできていると思いますか	教職員	56.2	43.8	0	0	A	

(2)学校の居場所づくり

② 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
学校は楽しいですか	全児童	40.0	48.1	8.9	3.0	B	A
毎日楽しく学校に通っていますか	保護者	41.9	55.2	1.9	1.0	A	
統合して良かったですか	2~6年	51.8	41.1	6.2	0.9	A	

(3)家庭での生活習慣の確立(挨拶とメディアとの付き合い方の観点から)

③ 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価	
気もちのよい挨拶をしていますか	全児童	54.6	38.0	6.7	0.7	A	B	
家庭や地域で進んで気持ちのよい挨拶をしていますか	保護者	32.4	50.5	17.1	0	B		
進んで気持ちのよい挨拶をしていますか	教職員	6.7	60.0	33.3	0	B		
④1時間以内が60以上はA、2時間以内が60以上はB、上記以外はC	なし	30分以内	~1時間	~2時間	2時間以上	評価	達成評価	
学校がある日に遊びでメディア(ゲーム、動画、ライン等)をする時間はどれくらいですか	2~6年	7.1	4.5	30.4	34.8	23.2	B	B
平日にお子さんは遊びでゲーム、動画、ライン等をどれくらい使っていますか	保護者	1.0	4.8	24.6	48.6	21.0	B	
⑤「ある」の割合90以上はA、70以上はB 上記以外はC		ある	なし	評価	達成評価			
メディアをする時間について、家でのきまりがありますか	2~6年	75.9	24.1	B	B			
メディアの接し方について、家でのきまりはありますか	保護者	89.5	10.5	B				
ある回答の方 お子さんはルールを守っていますか	保護者	67.0	33.0	C				

(4)「統合して良かったですか」の理由

【子どもの肯定的な理由】	【子どもの否定的な理由】	【教職員が統合した子どもたちの様子で感じていること】
<ul style="list-style-type: none"> サッカーや外で遊ぶ人が増えたから、休み時間が楽しくなった 前山、竹田、関係なくなかよくできているから やさしい子がおおい 人数が増えて、学校が前より明るくなった 人数が増えて楽しいし、自分もいろんな人と関われるようになった 知らなかった子どもも仲良くなれたから 友だちが増えて優しく声をかけてもらう回数も増えてうれしい 友達がふえて、学校が前より楽しくなった 授業が前より楽しくなった。人数が増えて授業も盛り上がるから 授業でたくさんの友だちと交流できるから 自分とは全く違った考え方を聞くのが楽しい 	<ul style="list-style-type: none"> 人数が多くなった(2) 友だちの意見がたくさん聞けるのはいいけど、授業でやかましい時がある(2) バスで前より早く起きないといけない 人数が増えてサッカーのボールに触れる回数減った 	<ul style="list-style-type: none"> 以前より活気があるのがとってもいい 前山・竹田ではなく、みんな竹山小の子という一体感を感じる 人間関係が広がって、統合前とは違う交友関係が生まれているのがいいと思う。どの子どもお互いに認め合いながら、よい学校が創れている 大きな不安なく過ごせているのは、統合前から子どもも保護者の方々も先生も交流してきたからだと思う。統合を前向きに捉えている子どもが多いことに改めて子どもたちにエネルギーをもらっていると思う 子どもたちの様子を見ていても安心して過ごせている子どもが多いと思う。これからは仲間に入り切れていない子がいないか、アンテナを高くしておきたい 友だちとのつながりが増えたことで、いろんな考えを聞くことができ、楽しく感じている児童が多いように感じる。個別の関わりを求めている子どもにとっても不安に感じることがないように学校全体で観ていきたい

【分析・考察等】

- ①学校だより・通信等で児童の成長を伝えていることに加え、HPについては「きらきら竹山っ子・校長室から」で児童の活動の様子がよく分かる画像や学校の取組の紹介など、児童の成長の様子を積極的に発信してきました。今後も情報発信に心がけるとともに、より多くの地域の方々に学校に足を運んでいただき子どもたちの様子を参観いただけるように情宣活動に取り組んでいきます。尚、防災無線については、業務改善の観点から毎日ではなく毎週末にその週にあったことを中心に放送することとしています。
- ②「学校は楽しい」についても(4)「統合してよかったですか」に示している理由と同じような意見が多くあり、多くの子どもたちが統合後の学校生活を肯定的に捉えて生活しているのが伺えます。「あまり楽しくない」と回答した児童の主な理由は「勉強が難しい」というものでした。今後もめざす子どもの姿を教職員・保護者だけでなく、児童とも共有を深め、「子どもたちに委ねる学び」を展開し、すべての子どもたちの主体性を育成する学校を目指していきます。
- ④⑤メディアの利用時間は、児童と保護者の間に大きな差はありませんが「家庭でのきまり」について、児童と保護者間で認識の差があると感じます。また、ルールはあるが守れていないと感じている保護者が3割を超えていることも気になるところです。3学期の学年懇談会で家庭でのメディアとの付き合い方が話題に挙がっていた学年が多くありました。それを受けて、子どもたちの実態を把握するとともに、情報モラル学習を行いました。今後は、ルールの内容やルールを守るための家庭での工夫や悩みなどを保護者で交流できるよう、懇談会などで場を設けていくことも考えています。

2.【教育課程 学習指導 協働的な学びと個別最適な学びの充実・ICTの積極的な活用】

① 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
勉強はわかりますか	2~6年	27.7	65.2	5.3	1.8	A	B
勉強はたのしいですか	2~6年	22.3	57.1	16.1	4.5	B	
家での学習に進んで取り組んでいますか	保護者	31.7	56.8	11.5	0	B	
失敗や間違えたときに、すぐにあきらめずに取り組んでいますか	2~6年	46.4	42.9	9.8	0.9	B	
失敗や間違っただけ、やり直す機会を与えたり場を意識的に設定したりしていますか	教職員	26.7	60.0	13.3	0	B	
② 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
自分で選んで学習するときに、自分に合ったやり方を選ぼうとしていますか	2~6年	42.3	50.5	5.4	1.8	A	A
自己選択する場を意識的に設けていますか	教職員	33.3	53.4	13.3	0	B	
自分で考えて行動できる力を高めるために、子どもたちが判断して決めたりする機会を意識的に設けていますか	教職員	6.7	93.3	0	0	A	
③ 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
「自由進度学習」をしてみて、自分の力は伸びたと思いますか	2~6年	37.8	53.0	9.2	0	A	B
子どもたちの授業のスタイルは変わってきたと実感されていますか	保護者	22.3	56.3	21.4	0	B	
④ 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
自分の感じたことや考えたことを、人に伝えようとしていますか	2~6年	24.5	59.1	15.5	0.9	B	B
子どもたちは以下のような聞き方を意識していますか 低・中学年:自分の考えと比べて、高学年:友だちの考えを取り入れる	教職員	7.1	57.2	28.6	7.1	B	

【分析・考察等】

- ① 「勉強はよくわかりますか」は、高い数値を示しています。また、「勉強はたのしいですか」は6月調査より約6P肯定的な回答が減っているところは注視していくべきと考えています。肯定的な理由には、友だちと学び合えることや先生に教えてもらいやすくなったこと、大好きや得意な教科があることなどがありました。逆に否定的な回答には、めんどくさいや難しいなどと感じている子もいます。「勉強が分かる」は増加しているのに「楽しい」は減少していることについては、子どもたちと対話しながらその要因を探っていきたくと考えます。今後も個別に支援をすることはもちろんですが、ご家庭とも連携し取り組んでいきたいと思えます。
- ②～④子どもたちが学習を自分事と捉えて学びを深めるには、自己選択する場があることが大事と考えています。子どもたちは自分に合った学習方法や場所や時間の使い方を選択しようとしていることが分かりました。また、自己選択する学習である自由進度学習をして一人で頑張る力や苦手なところを納得するまでする力、自分のペースで勉強する力が伸びたと考えている子が多くいることも子どもたちに委ねる学びを進めている職員にとって嬉しいことでした。今後も取組を進めていきたいと考えています。

3.【人権教育 自尊感情と人権意識の高揚 主体的にかかわる ふるさと竹山】

(1) 自尊感情

① 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はC、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
自分にはよいところがあると思いますか	全児童	35.7	50.9	9.8	3.6	B	A
お子さんのよい所をほめていますか	保護者	32.7	65.4	1.9	0	A	
子どもたちの伸びや認める言葉を意識してかけていますか	教職員	53.3	40.0	6.7	0	A	

(2) 人を大切にする気持ち

② 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はC、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
ともだちのよいところを見つけて伝えていきますか	全児童	28.1	65.9	6.0	0	A	A
友達を大切にする気持ちが育っていますか	保護者	44.2	55.8	0	0	A	
③ 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
友だちと協力して何かをすることは楽しいですか	全児童	63.7	30.5	5.1	0.7	A	A
友達と協力して何かをする活動時間を意識して設定していますか	教職員	40.0	53.3	6.7	0	A	

(3) 主体的にかかわる・ふるさとを大切に思う気持ちの醸成

④ 達成評価A+Bが90以上はA、70以上はB、上記以外はC		A	B	C	D	評価	達成評価
学校をよくしていこうとしていますか	2~6年	22.3	60.7	16.1	0.9	B	A
ふるさと竹山は好きですか	2~6年	57.7	36.0	6.3	0	A	

【分析・考察等】

- ① 「自分にはよいところがある」については、6月調査で否定的な回答をしていた児童が11月調査では肯定的な回答に変容しているのが見受けられました。今後も「失敗OK」を合言葉に休み時間、特別活動や係活動はもちろん授業でも子どもたちの主体性を大切にした授業を行っていくことが自尊感情の高揚にもつながると考えています。
- ①～③ただ、「自分にはよいところはある」に否定的な回答をした児童が一定数いることから、一人ひとりを把握し、個別にアプローチしていこうと職員で話し合いました。児童会が2学期に取り組んだ竹山っ子フェスティバルや1月の月目標の「気持ちの良い行動や言い方をしよう」や縦割り掃除などの全校的な取組で子どもたちが協働する場を大事にし、更に自己肯定感を高めていきたいと思えます。
- ④学校をよくしていこうと行動し、身近な課題を解決しようとするのがふるさとを大切に思う気持ちにつながると考えます。具体的には「みんなの名前を知って声をかけていくこと」「友だちが困っていたら助けていること」「ゴミが落ちていたら拾っている」「挨拶」「学校をきれいに」「友だちのいいところを見つけている」「いけないことを見つけたら注意している」「けんかしても仲直りしている」など、自分たちでよりよくしていこうと意識して行動していることが分かりました。今後も「学校の主人公は子どもたちである」という視点に立ち、子どもたちとともに新たな学校のカタチを創っていきたくと考えています。